



4つて子応援団



【活動報告】5年生の火起こし体験

6月1日（土）の参観授業で、5年生の児童を対象に、火起こし体験を実施しました。これは、6/14～15の臨海学習で野外炊飯を行うため、火を起す手順を事前に学習できるように企画したものです。

火をつけるために何が必要で、どんな道具を使うのか、向日市のボーイスカウトの方々をお招きし、地域のボランティアの皆さんと一緒に学習しました。ボーイスカウト向日第1団の皆さま、ボランティアで参加してくださった地域の皆さま、ご協力ありがとうございました。

火をつけるために必要なものは？



金濱小春さん

問題です。「物が燃えるためには、何が必要でしょうか？」

答え：物が燃えるための条件は「燃料」「酸素」「熱」が必要です。3つ全て揃わないと物は燃えません。



井原拓実さん



上手に点火するためのポイントは？



湯川耕太郎さん

問題です。「薪」「新聞」「細い木」どれが一番燃えるでしょうか？

答え：「新聞」が一番よく燃えます。ただし、新聞はすぐに燃え尽きてなくなってしまいます。一番長く燃え続けるのは「薪」なので、新聞→細い木→薪の順に火が付くように考えましょう！



湯川諒祐さん



新聞をクシュクシュ丸めます。新聞の上に細い木をおいて空気の通り道を作って火を付けるよ！

ナタを使って薪わりをしよう！



佐伯孝雄さん

必ず軍手を着用しましょう！
ナタを次の人に渡すときは、持ち手側を相手に向けて渡しましょう！



磯部満彦さん

＜薪の割り方＞
軍手をした手で薪を持って、ナタの刃を斜め45度の角度で薪の上に当てます。そのまま土台にトントンと叩きつけます。刃が薪に食い込んだら、ナタを両手に持ち替えて、今度は土台に少し強くたたきつけます。そうするとバカッと薪が縦に割れます。

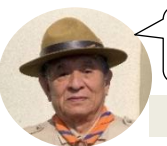
お米を洗って炊飯の準備をします



武田誠二郎さん

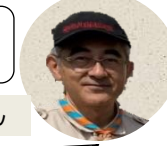
計量したお米を飯盒に入れて、水を入れてかき混ぜ、米を流さないよう水だけ捨てます。2～3回繰り返します。栄養分が流れてしまうので、ほどほどが良いです。

マッチを使って薪に火をつけよう！



赤瀬由貴さん

最近、マッチの付け方消し方を知らない子どもが多いそうですね。



平井登さん

そうですね。マッチに火が付いた瞬間、マッチ棒の向きをどうすればいいかわからず戸惑いを見せる子もいました。何度かやってやっと火がついたとき、拍手が起きた班もありました。



川上伸男さん

ハイ！上手にご飯が炊けましたよ♪
みなさんも臨海学習でおいしいご飯を炊いてくださいね！



～貴重な体験がたくさんできました～ このお便りのカラー版を4向ホームページにアップしています。ぜひご覧ください。

ボーイスカウトのみなさん。ありがとうございました！